

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

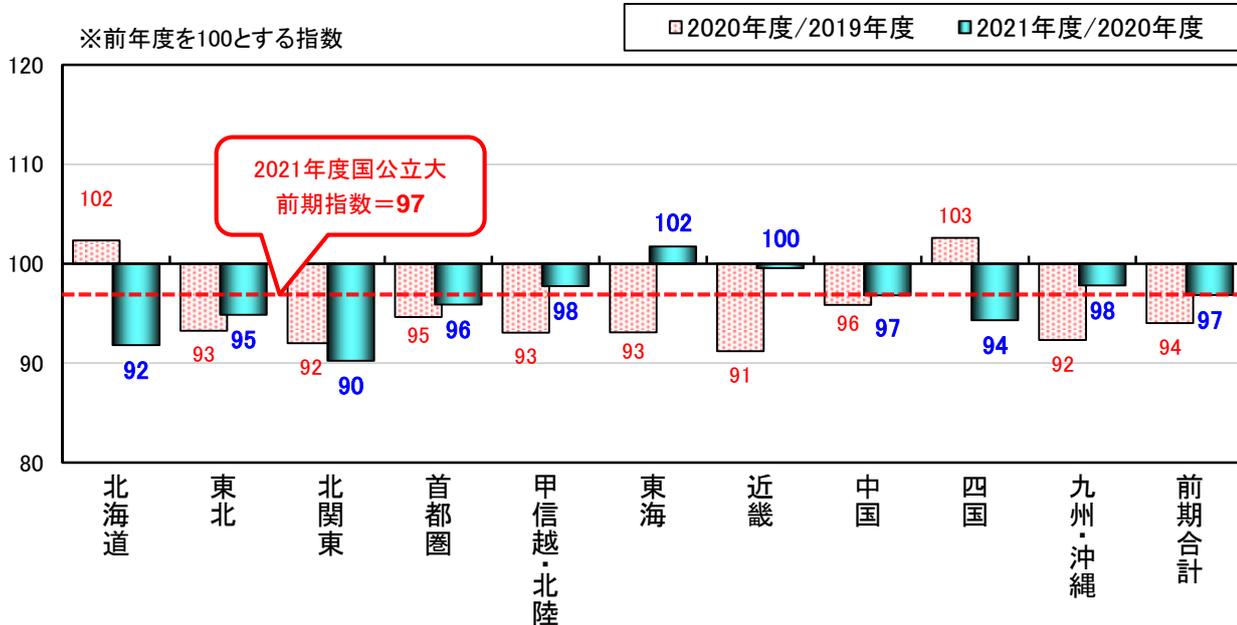
※本文内の（ ）内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

### ◎地区別志願状況

□前期は東海を除き減少、北海道、東北、北関東の減少が目立つ

〔地区別志願者指数〕

〈前期日程〉



○北海道(92)… 13 大学中 9 大学が減少。

【志願者数】公立千歳科学技術大(+170 人)が理工系への人気の高さと札幌都市圏からのロケーションの良さから増加数が大きかった。一方で、その影響を受けた室蘭工業大(-591 人)の減少数が大きかった。遠距離移動を嫌った志願動向により北海道大(-370 人)も減少数が大きかった。

【志願者指数】公立千歳科学技術大(181)が激増、小樽商科大(110)は増加。一方で、室蘭工業大(51)、名寄市立大(68)、公立はこだて未来大(83)が大幅減少、帯広畜産大(86)、札幌市立大(90)、北見工業大(91)が減少。

○東北(93)…17 大学中 9 大学が減少。

【志願者数】福島県立医科大(+467 人)が保健科学を新設したことで増加数が大きく、弘前大(-644 人)、秋田県立大(-290 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】福島県立医科大(222)が 2 倍以上の激増、山形県立米沢栄養大(195)、山形県立保健医療大(132)が大幅増加。一方で、秋田県立大(67)、弘前大(71)が大幅減少、宮城教育大(89)、会津大(89)、青森公立大(90)、岩手大(91)、秋田大(91)は減少。

○北関東(90)…10 大学中 9 大学が減少。

【志願者数】群馬県立県民健康科学大(+21 人)のみが増加。一方で、高崎経済大(-505 人)、筑波大(-211 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】群馬県立県民健康科学大(110)のみ増加。一方で、前橋工科大(69)、高崎経済大(75)、茨城県立医療大(83)が大幅減少、宇都宮大(86)、筑波技術大(90)、群馬県立女子大(92)は減少。

○首都圏(96)… 19 大学中 13 大学が減少。

【志願者数】千葉大(+291 人)、東京農工大(+276 人)、横浜市立大(+198 人)の増加数が大きかった。一方で、コロナ禍への対応から全学部で個別試験の実施を取りやめた横浜国立大(-967 人)は前期では全国で 2 番目に大きな減少数だった。東京都立大(-435 人)、東京芸術大(-318 人)、東京学芸

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

大(-258人)などの減少数が大きかった。

【志願者指数】東京農工大(123)が大幅増加、横浜市立大(110)、埼玉県立大(109)が増加。一方で、横浜国立大(66)が大幅減少、東京学芸大(86)、東京医科歯科大(87)、電気通信大(88)、東京外国語大(88)、東京芸術大(91)、東京都立大(82)は減少。

○甲信越・北陸(98)…22大学中14大学が減少。

【志願者数】後期廃止により募集人員が増加した金沢大(+1,098人)が1千人以上の増加数で、前期では全国で最も多い増加数だった。これに次いで、三重大(+542人)の増加数も大きかった。一方で、公立諏訪東京理科大(-565人)、富山大(-426人)、新潟大(-335人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】石川県立看護大(170)、公立小松大(148)、金沢大(142)、長野大(141)、敦賀市立看護大(140)、山梨県立大(132)が大幅増加。一方で、新潟県立看護大(50)、公立諏訪東京理科大(50)、長野県看護大(67)、山梨大(79)、都留文科大(80)が指数80を下回る大幅減少。地区内で大きな増減に分かれた。

○東海(102)…14大学中8大学が減少。

【志願者数】三重大(+542人)が増加、愛知教育大(-159人)が減少した。

【志願者指数】岐阜県立看護大(140)、三重大(122)が大幅増加。一方で、三重県立看護大(64)が大幅減少、愛知教育大(88)、浜松医科大(88)が減少。

○近畿(100)…25大学中14大学が減少。

【志願者数】神戸大(+625人)の増加数が目立ち、前期では全国で2番目に大きな増加数だった。和歌山県立医科大(+273人)は薬の新設で増加、大阪大(-471人)、京都大(-302人)、滋賀大(-222人)が減少。

【志願者指数】和歌山県立医科大(206)は倍増の激増、京都教育大(119)、奈良教育大(117)は大幅増加。一方で、奈良県立大(66)、神戸市看護大(72)、兵庫教育大(81)、奈良女子大(82)、京都府立大(83)、滋賀大(83)は大幅減少。

○中国(97)…16大学中12大学が増加。

【志願者数】山口大(+438人)、下関市立大(+273人)の増加。一方で、島根県立大(-1,284人)の減少数が目立ち、前期では全国で最も大きな減少数だった。山陽小野田市立山口東京理科大(-431人)、島根大(-348人)、広島大(-223人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】下関市立大(143)、新見公立大(136)、福山市立大(126)、広島市立大(125)、県立広島大(120)は大幅増加。一方で、島根県立大(34)、山陽小野田市立山口東京理科大(52)、山口県立大(81)、島根大(84)は大幅減少。

○四国(94)…9大学のうち5大学が減少。

【志願者数】愛媛大(+171人)は増加。一方で、徳島大(-472人)、高知工科大(-309人)は減少。

【志願者指数】高知県立大(114)は大幅増加、愛媛大(106)、香川大(106)はやや増加。一方で、高知工科大(75)、徳島大(81)などは大幅減少、高知大(92)、鳴門教育大(92)は減少。

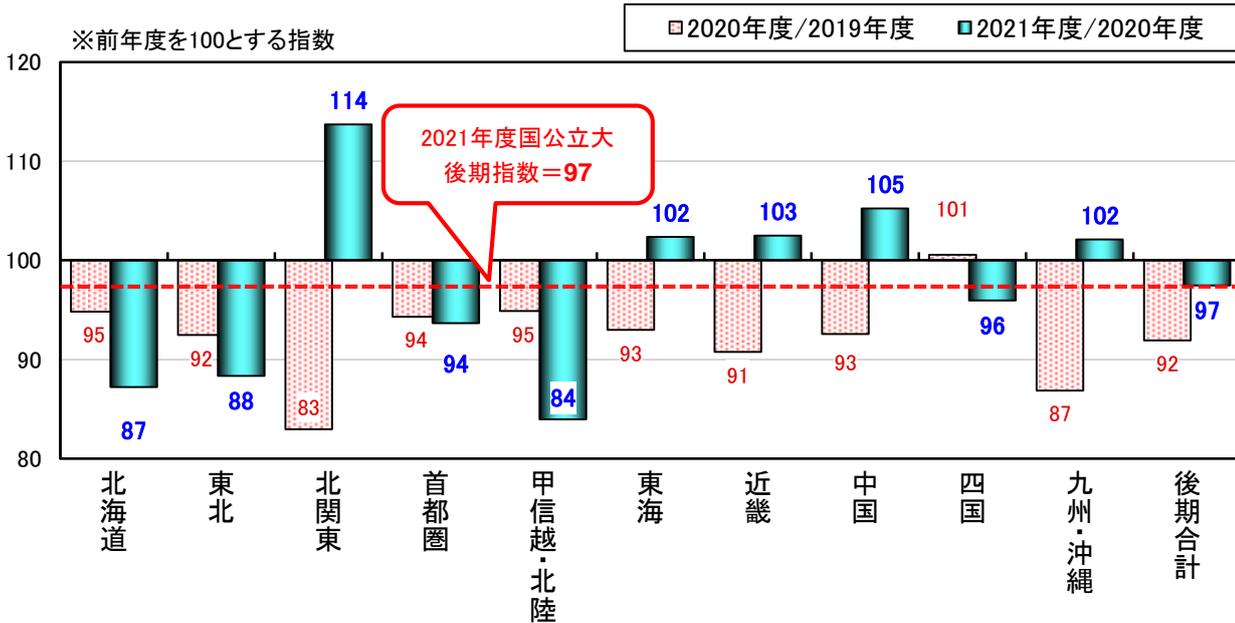
○九州・沖縄(98)…23大学のうち13大学が減少

【志願者数】鹿児島大(+307人)、宮崎大(+225人)は増加。一方で、大分大(-636人)、熊本大(-303人)、佐賀大(-206人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】九州歯科大(162)、沖縄県立看護大(147)、宮崎県立看護大(145)、福岡県立大(124)、宮崎大(115)は大幅増加。一方で、大分大(69)、宮崎公立大(71)、福岡女子大(81)、熊本県立大(84)は大幅減少。

# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>



○北海道(87)…9 大学中 6 大学が減少。後期廃止の札幌市立大を除いても(88)の減少。

【志願者数】室蘭工業大(+235 人)の増加数が大きかった。一方で、北海道大(-761 人)の減少数が大きく、後期では全国で 2 番目に大きい減少数だった。北見工業大(-460 人)、旭川医科大(-205 人)も減少した。

【志願者指数】公立はこだて未来大(361)は 3.6 倍の激増、室蘭工業大(149)、小樽商科大(142)は大幅増加。一方で、旭川医科大(52)は 2 年連続大幅減少、帯広畜産大(62)、北見工業大(71)、北海道大(82)は大幅減少。

○東北(88)…14 大学中 9 大学が減少。

【志願者数】増加数が目立った大学はなく、弘前大(-562 人)、福島大(-523 人)、秋田大(-325 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】青森公立大(142)、山形県立米沢栄養大(124)は大幅増加。一方で、弘前大(65)、福島大(76)、秋田大(81)は大幅減少。福島県立医科大(86)、宮城教育大(90)、岩手県立大(91)、東北大(92)は減少。

○北関東(114)…8 大学中 6 大学が増加。

【志願者数】茨城大(+693 人)、高崎経済大(+318 人)の増加数が大きかった。一方で、前橋工科大(-213 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】高崎経済大(130)、茨城県立医療大(124)、茨城大(121)、群馬大(119)は大幅増加。一方で、前橋工科大(74)は大幅減少。

○首都圏(94)…15 大学中 8 大学が増加。後期廃止の東京工業大を除いても(96)のやや減少。

【志願者数】千葉大(+1,062 人)は、後期では全国で最も大きい増加数だった。一方で、前期同様にコロナ禍への対応から全学部で個別試験の実施を取りやめた横浜国立大(-2,425 人)は、後期では全国で最も大きい減少数だった。

【志願者指数】千葉大(127)、埼玉県立大(123)は大幅増加。一方で、横浜国立大(49)は半減以下の激減、東京外国語大(72)は大幅減少、横浜市立大(87)、東京医科歯科大(87)、お茶の水女子大(88)は減少。

○甲信越・北陸(84)…13 大学中 7 大学が増加。後期廃止の金沢大と長野県看護大を除くと(96)のやや減少。

【志願者数】富山大(+345 人)、富山県立大(+342 人)の増加数が大きかった。一方で、新潟大(-466 人)、福

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

井大(-437 人)、福井県立大(-343 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】敦賀市立看護大(206)、富山県立大(181)、石川県立看護大(155)、石川県立大(117)が大幅増加。石川県の公立2大学は、金沢大後期廃止の影響が見られた。一方で、山梨県立大(69)、福井県立大(74)、福井大(80)、新潟大(81)は大幅減少。

○東海(102)…13 大学中 7 大学が増加。

【志願者数】三重大(+318 人)、名古屋市立大(+247 人)の増加数が大きかった。一方で、静岡大(-228 人)、静岡文化芸術大(-196 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】浜松医科大(162)、愛知県立大(123)、名古屋市立大(120)、三重大(115)が大幅増加。一方で、静岡文化芸術大(70)は大幅減少。

○近畿(103)…21 大学中 11 大学が増加。

【志願者数】兵庫県立大(+708 人)は後期では全国で2番目に大きい増加数だった。神戸大(+296 人)も増加数が大きかった。一方で、滋賀大(-326 人)、滋賀県立大(-192 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】京都教育大(198)、兵庫県立大(146)、神戸市看護大(136)は大幅増加。京都工芸繊維大(113)、大阪府立大(112)は10%を上回る増加。一方で、福知山公立大(63)は大幅減少。滋賀大(87)、奈良女子大(87)、滋賀県立大(89)などは10%を上回る減少。

○中国(105)…14 大学中 9 大学が増加。

【志願者数】山口大(+607 人)、県立広島大(+492 人)、岡山大(+337 人)の増加数が大きかった。一方で、島根県立大(-506 人)、広島大(-282 人)、島根大(-257 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】岡山県立大(189)、県立広島大(160)は激増、岡山大(125)、山口大(124)、山口県立大(122)、広島市立大(121)が大幅増加。一方で、島根県立大(51)は半減近い大幅減少、公立鳥取環境大(78)も大幅減少。

○四国(96)…9 大学中 6 大学が減少。

【志願者数】徳島大(+233 人)の増加数、愛媛大(-200 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】徳島大(111)、愛媛県立医療技術大(111)が増加。一方で、高知県立大(73)、香川県立保健医療大(73)、鳴門教育大(83)は大幅減少。

○九州・沖縄(102)…21 大学の中 14 大学が増加。

【志願者数】宮崎大(+505 人)、鹿児島大(+256 人)、九州大(+227 人)、福岡県立大(+212)の増加数が大きかった。一方で、琉球大(-426 人)、佐賀大(-290 人)、北九州市立大(-226 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】福岡県立大(149)、沖縄県立芸術大(145)、沖縄県立看護大(138)、宮崎県立看護大(134)、宮崎公立大(124)、宮崎大(121)、福岡教育大(120)が大幅増加。一方で、大分県立看護科学大(72)、琉球大(83)は大幅減少。

# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

## <中期日程>

今年度から中期を実施する長野県看護大を除いた 21 大学中 16 大学が減少。

【志願者数】 公立小松大(+399 人)、静岡県立大(+367 人)、長野県立大(+210 人)の増加数が大きく、下関市立大(-750 人)、公立諏訪東京理科大(-482 人)、大阪府立大(-380 人)、釧路公立大(-376 人)、山陽小野田市立山口東京理科大(-326 人)、奈良県立大(-313 人)、都留文科大(-293 人)、岡山県立大(-208 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】 静岡県立大(149)、公立小松大(147)、長野県立大(145)、新見公立大(143)、公立千歳科学技術大(123)は大幅増加。一方で、奈良県立大(67)、公立諏訪東京理科大(72)、釧路公立大(74)、下関市立大(77)、山陽小野田市立東京理科大(84)は大幅減少。

## <独自日程>

国際教養大、新潟県立大に新設の三条市立大、叡啓大が加わり 4 大学 6 学部となった。

【志願者数】 新設の三条市立大が 802 人の志願者数で志願倍率は 11.1 倍、叡啓大が 64 人の志願者数で志願倍率は 6.4 倍だった。国際教養大(-155 人)、新潟県立大(-17 人)は減少。

【志願者指数】 新潟県立大(99)は前年度並、国際教養大(88)は減少。

次に、地区別に増減数が 150 人以上かつ増減率が 15%以上の大学をまとめました。

### ○北海道

前期	増加	公立千歳科学技術大	+170人	理工系への人気の高さと札幌都市圏からのロケーションの良さから増加数が大きかった。志願倍率も1.7倍→3.0倍にアップ。
	減少	室蘭工業大	-591人	前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、2学科とも大幅減少で、(創造)(34)は前年度2倍以上の激増の反動で激減。
後期	増加	室蘭工業大	+235人	(創造工)(80)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、(システム理化)(340)は前年度大幅減少の反動で3倍以上の激増。
		公立はこだて未来大	+162人	前年度激減の反動で3倍以上の激増。志願倍率も2.5倍→9.0倍にアップ。
	減少	北海道大	-761人	菌の募集停止もあり2年連続減少。学部別では、水産(113)は増加、(理)(103)はやや増加。一方で、農(65)、経済(67)、医(保健)(74)、獣医(75)、薬(76)、法(81)、工(84)は大幅減少。
		北見工業大	-460人	2年連続減少。学科別では、(地球環境工)(60)、(地域未来デザイン)(81)ともに大幅減少。
		旭川医科大	-205人	個別試験の入試科目で理科+面接→外国語+面接に変更した(医)(35)は2年連続減少の激減。(看護)(88)は2年連続減少。
		帯広畜産大	-161人	前年度3年ぶりに激増した反動で大幅減少。
中期	減少	釧路公立大	-376人	2年連続減少。学科別では、(経営)(97)はやや減少、(経済)(66)は大幅減少。

### ○東北

前期	増加	福島県立医科大	+467人	保健科学を新設したことと前年度大幅減少の反動で倍以上の激増。
	減少	弘前大	-644人	医(医)(75)は募集人員の変更、個別試験の入試科目で数学+外国語+面接→総合問題+面接に変更で大幅減少。理工(63)、教育(67)は2年連続減少、人文社会科学(68)、農学生命科学(78)は大幅減少。
		秋田県立大	-290人	2年連続増加の反動で大幅減少。
後期	減少	弘前大	-562人	農学生命科学(39)は2年連続減少で激減、理工(64)は2年連続増加の反動で大幅減少、教育(77)は2年連続大幅減少。
		福島大	-523人	農(130)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、人文社会(61)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
		秋田大	-325人	医(保健)の募集停止、国際資源(75)は3年連続大幅減少、理工(83)は大幅減少。

### ○北関東

前期	減少	高崎経済大	-505人	経済(59)は前年度大幅増加の反動で激減、地域政策(88)は3年連続減少。
		宇都宮大	-199人	共同教育(119)は2年連続減少の反動で大幅増加。工(83)は大幅減少で4年連続減少。国際(63)は系統の不人気もあり大幅減少。農(70)は大幅減少で2年連続減少。
		前橋工科大	-192人	2年連続減少で、学科別では、(システム生体)(116)のみ大幅増加で、他の4学科は(生命情報)(54)、(建築)(69)、(生物)(70)、(社会環境)(80)と大幅減少。
後期	増加	茨城大	+693人	理(216)は倍以上の激増、工(129)、人文社会科学(118)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、教育(125)は大幅増加。一方で、農(44)は前年度激増の反動で大幅減少。
		高崎経済大	+318人	4年連続減少の反動から大幅増加。
		群馬大	+186人	共同教育(142)、医(保健)(140)が大幅増加。
	減少	前橋工科大	-213人	2年連続減少で、学科別では、(システム生体)(116)のみ大幅増加で、他の4学科は(社会環境)(62)、(生命情報)(71)、(建築)(80)、(生物)(82)と大幅減少。

# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

## ○首都圏

前期	増加	東京農工大	+276人	工(129)は2年連続減少の反動で大幅増加、農(114)は増加。
	減少	横浜国立大 東京学芸大	-967人 -258人	コロナ禍への対応から全学部で個別試験の実施を取りやめた影響で、大幅減少。 (教育)(72)は大幅減少で2年連続減少。(特別支援)(78)は大幅減少。(初等)(87)は減少。(中等)(94)はやや減少で3年連続減少。
後期	増加	千葉大	+1,062人	薬(180)は4年連続減少の反動で大幅増加、法政経(131)、工(128)、理(124)、文(118)、医(116)は大幅増加。
	減少	横浜国立大 東京外国語大	-2,425人 -412人	募集人員減少とコロナ禍対策として個別試験の実施を取りやめた影響で、半減以下の大幅減少。志願倍率も9.4倍→5.0倍に減少。 系統への不人気の影響で6年連続減少。

## ○甲信越・北陸

前期	増加	金沢大	+1,098人	後期募集停止で前期の募集人員が大幅増加の影響で、大幅増加。
		長野大	+158人	社会福祉(264)は前年度激減の反動で激増。環境ソールズム(137)は大幅増加。企業情報(65)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
		公立小松大	+155人	生産システム(312)は前年度大幅減少の反動で3倍以上の激増。国際文化交流(130)は前年度ほぼ半減の反動で大幅増加。保健医療(87)は減少で2年連続減少。
		山梨県立大	+151人	看護(261)は4年連続減少の反動で2.6倍の激増。国際政策(133)は前年度半減以下の激減の反動で大幅増加。人間福祉(56)は半減近い激減。
後期	減少	公立諏訪東京理科大	-565人	前年度2.5倍の激増の反動で半減。
		山梨大	-241人	生命環境(69)、工(80)は2年連続大幅減少。教育(86)は2年連続減少。
		福井大	-211人	教育(61)は2年連続大幅減少。医(73)は前年度増加の反動で大幅減少。
後期	減少	富山県立大	+342人	工(304)は2年連続減少の反動で3倍以上の激増。看護(83)は大幅減少で2年連続減少。
		新潟大	-466人	教育、創生の後期募集停止もあり大幅減少。経済科学(63)は大幅減少。農(64)、理(77)は前年度激増の反動で大幅減少。歯(159)、法(140)は大幅増加。
		福井大	-437人	工(72)、医(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。教育(92)は2年連続減少。国際地域(227)は前年度7割減の激減の反動で2.2倍以上の激増。
中期	増加	公立小松大	+399人	看護福祉(67)は大幅減少で3年連続減少。海洋生物(71)は2年連続増加の反動で大幅減少。経済(73)は大幅減少で3年連続減少。
		長野県立大	+210人	生産システム(182)、国際文化交流(138)、保健医療(124)は大幅増加。
		公立諏訪東京理科大	-482人	グローバル(167)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。 前年度大幅増加の反動で大幅減少。

## ○東海

前期	増加	三重大	+542人	教育(157)、医(134)、工(120)、生物資源(115)は大幅増加。
後期	増加	名古屋市立大	+247人	人文社会(173)は激増、芸術工(126)は大幅増加、経済(111)は増加。総合生命理(97)はやや減少で、2018年度新設以来初めて減少。
	減少	静岡文化芸術大	-196人	文化政策(65)は大幅減少で4年連続減少、デザイン(82)も大幅減少で2年連続減少。
中期	増加	静岡県立大	+367人	薬(149)は大幅増加で、2017年度以降前年度の反動による増減が継続。

## ○近畿

前期	増加	和歌山県立医科大	+273人	医(142)は前年度半減以下の激減の反動で大幅増加、保健看護(119)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。新設の薬は185人の志願者数で志願倍率2.6倍。
	減少	滋賀大	-222人	データサイエンス(85)は2年連続大幅減少。経済(90)も2年連続減少。経済夜は募集停止。
		京都府立大	-177人	文(64)は大幅減少、公共政策(90)は減少。
後期	増加	兵庫県立大	+708人	環境人間(569)は前年度半減以下の激減の反動で5倍以上の激増、国際商経(179)は激増、看護(147)は大幅増加、工(113)は増加。
中期	減少	奈良県立大	-313人	地域創造(67)は大幅減少で2年連続減少。

## ○中国

前期	増加	下関市立大	+273人	経済(143)は大幅増加で3年連続増加。
		広島市立大	+171人	情報科学(158)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、芸術(107)はやや増加。
	減少	島根県立大	-1,289人	人間文化(59)は2018年度新設以来初めて減少で激減、総合政策は国際関係、地域政策に改組したが、1,040人の激減。
		山陽小野田市立 山口東京理科大	-431人	工(52)は前年度大幅増加の反動で激減。
後期	増加	島根大	-348人	教育(68)、法文(68)、医(79)、総合理工(79)は大幅減少。一方で、生物資源科学(130)、人間科学(123)は大幅増加。
		山口大	+607人	工(192)は激増、医(120)は大幅増加、国際総合科学(114)は増加。
		県立広島大	+492人	地域創生(354)は改組2年目で激増、生物資源科学(139)は大幅増加、保健福祉は改組で269人の志願者で志願倍率は14.2倍
		岡山大	+337人	経済(202)は2年連続減少の反動で倍増以上の激増、法(156)、医(143)、農(127)、理(125)、歯(117)は大幅増加、文(113)は増加。
中期	減少	広島市立大	+182人	情報科学(184)は前年度大幅減少の反動で激増。
		島根県立大	-506人	人間文化(55)は前年度3倍以上の激増の反動で激減、総合政策から改組の国際関係、地域政策は、国際関係が115人の志願者で志願倍率は11.5倍、地域政策が152人の志願者で志願倍率は7.6倍。
中期	減少	下関市立大	-750人	経済(77)は全学科減少で大幅減少。
		山陽小野田市立 山口東京理科大	-326人	薬(79)は大幅減少、工(90)は減少。

## 2021 年度入試状況分析【国公立大】

### ○四国

前期	減少	徳島大	-472人	総合科学(41)、生物資源産業(58)はどちらも前年度大幅増加の反動で激減、歯(79)、理工(81)、薬(82)は大幅減少。
		高知工科大	-309人	環境理工(29)は激減、システム工(70)、情報(78)は大幅減少。

### ○九州・沖縄

前期	増加	九州歯科大	+175人	歯(162)は3年連続減少の反動で大幅増加。
	減少	大分大	-636人	医(54)、教育(57)、理工(71)、経済(84)は大幅減少、福祉健康科学(88)は減少。
後期	増加	宮崎大	+505人	農(177)、教育(132)、地域資源創成(121)は大幅増加。
		福岡県立大	+212人	看護(197)は2年連続減少の反動で激増、人間社会(136)は大幅増加。
	減少	琉球大	-426人	農(51)は激減、工(65)は大幅減少、理(92)は減少。